



兵庫支部NEWS H23年 8月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(TEL078-792-6130)

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

新役員構成決まる

女性の会「スマレの会」一步前進

7月31日(日)13:30より支部総会総括の為の役員会が、兵庫勤労市民センター2階第4会議室で開催された。

役員19名のうち委任状を含めた出席者は17名で役員会は成立していることを確認して、新規約に基づき山田幹事長が議長となり会議が進められた。



(左から、藤田、福永、永翁、佐藤、安徳、山田、松山、二宮、高山、河野)

最初に安徳支部長から「暑い中の出席に感謝、先般開催の支部総会・懇親会の総括およびその他の議題について協議願いたい」と挨拶の後議事に入る。

(1)第25回兵庫支部総会総括の件

①返信はがきについて

事務局より案内総数751通、返信数152通内出席39通、欠席113通(死去2通含む)なお、宛先不明で返戻されたものが18通あり、返信率は20.7%となり、5人に一人しか返事していない事となる。

欠席通知者のうち約半分の54人が「案内不要」にマークしており、予想外の多さに驚く。協議の結果来年の案内には一言断りを入れて案内状を送付する事にする。

②総会・懇親に会について

*総会次第はなるべく短く。*会場が狭くマイクの通り悪く騒々しかった。*懇親・歓談に重点を置き、講演・アトラクションを一考。*ホテルの宴会場での開催を考えてはどうか。*色々な場所での開催を楽しむことのできる従来方式も良い。*狭いが故に各テーブルやそこかしこでの交流があり、盛り上がった。*来年は総会担当幹事が総会を企画する。

③講演・アトラクションについて

*「笑い与健康」との演題で、笑いのある講演を期待したが期待外れだった。真面目過ぎた。*講演の費用を景品代に充当してビンゴなどをする事も良いのでは。

④総会収支状況について

会費及び本部からの助成金を含めた総収入は381,000円、会場費、謝礼、通信費・印刷費等の経費の総支出380,985円。未清算の経費が少しあり、最終的には若干の赤字となるが、ほぼとんととなる。

⑤支部運営協力金について

協賛者総数47名、協賛金総額78,500円総会に出席されなかった協賛者には、報告を兼ね総会記事掲載の兵庫支部NEWS7月号を送付。

⑥その他

*支部旗・幟の保管担当を松山副支部長兼会計とする。

*新規約に基づく役員構成の変更について副支部長が3人から2人への変更に伴い、山田副支部長兼幹事長が幹事長専任となり、会計が2人から1人となったので、太田会計は幹事となる。新しい役員構成は下記の通り。

支部長:安徳信義(44商)

副支部長:永翁正臣(41商)松山仁(44商・兼会計)

幹事長:山田紘昭(44商)

監査:河野旺生(36商)平間正昭(37商)

幹事:藤田博保(35商)二宮慶治郎(38米英)

中村明人(41商)福永憲彦(44経営)

浜田勝義(44米英)澤田英憲(44経営)

高山行雄(45米英)小野成彦(50経営)

牛丸敬孝(51中国)三宅隆志(59中国)

安部高之(H1英米)太田裕之(H1院経営)

佐藤研二(H8法律)

事務局長:山田紘昭(44商)

評議員:安徳信義(44商)

相談役:大村実良(33商)名越英昭(37米英)

(2)女性の会「スマレの会」立ち上げについて

本部来賓として出席の重田千恵子幹事の助言をもとに、今回総会出席者の西村洋子(41米英)福原照世(44中国)榎崎栄子(50国文)の3人をメンバーとして8月28日(日)宝塚にて準備委員会を立ち上げる予定。当日の食費は支部負担とする事が承認された。

(3)その他

*支部活動功労賞被表彰者選任について

山田幹事長と佐藤幹事が被表彰者候補にあげられ、後日本部からの正式案内受領後決定する。

(次頁に続く)

Badhai! The 25th general meeting of
The niversity of Kitakyushu Hyogo branch



Alumnus are most welcome to



SHANTI

Shanti means Peace

INDIAN RESTAURANT SHANTI

JR-ASHIYA 5FL 0797-35-4807

Please access www.ethnic.co.jp

支部役員会報告(続き)

- *支部規約第15条の内規確認
 - ①本部総会・懇親会への派遣について
 - ・功労賞被表彰者一人の往復旅費及び懇親会参加費を支部負担とする。
 - ・被表彰者ない場合、役員から一人選任する
 - ②関西支部総会出席者3人の会費を支部負担とする。但し交通費は支給しない。
 - ③支部役員会出席の交通費は原則不支給。
 - *和歌山支部総会について(別掲)
 - 支部代表は派遣しないが希望者は参加自由。
 - *関西支部ビア&カラオケ大会について(別掲)
 - 支部代表は派遣しないが希望者は参加自由。
 - *忘年会について
 - 例年通り12月第1土曜日(12/03)開催予定で10月21日(金)に三金会と役員会の併催とし福永担当幹事が詳細を企画し報告・検討する。
 - *兵庫支部NEWS寄稿について
 - 役員が順番に寄稿する事になった。題材自由。A4版用紙1枚程度(1200~1300字)締切は新開発行月の前月末とする。
 - 9月号二宮、10月号永翁、11月号松山、12月号佐藤、1月号河野、2月号福永、3月号藤田、4月号山田
 - 安徳支部長は2カ月毎位に川柳を寄稿する。
- 16:30閉会し、兵庫駅前の「えびす大黒」にて有志による慰労会が開催された。



(左手前から藤田、福永、安徳、山田、松山、二宮、永翁)

関西支部 ピア&カラオケ大会

関西支部の夏の恒例行事「ピア&カラオケ大会」の開催案内が兵庫支部事務局に届いたので、その詳細をお知らせします。
参加希望者は兵庫支部事務局または関西支部事務局へ8月17日ごろまでにお申し込みください。

記

平成23年度関西支部ピア&カラオケ大会
開催日時：8月20日(日)17:00~20:00
開催場所：新大阪ワンホップ1F “和左味”
JR・地下鉄新大阪駅より南へ徒歩4分
会費：男性4,500円、女性4,000円
申込先：①兵庫支部事務局長山田絢昭
Tel.&Fax:0797-81-0842
②関西支部事務局長鈴木 哲
Tel.06-6955-1488
③関西支部担当 大江一正副幹事長
Tel.090-8121-5629
関西支部HPからも申込できます。

平成23年度支部運営協力金協賛者御芳名(追加分)

7月号に掲載の44人に続いて、下記3人の方から御協賛頂きましたのでお知らせします。御協賛者総数47人、御協賛総額78,500円となりました。
皆様のご支援・ご協力に心から御礼申し上げます。

記

渡辺恭章(43商) 西川泰弘(56商)
寺西玄一(H22院・社会システム研)

警察功労 瑞宝単光章受章

山田渡四郎氏(38中国)川西市

東日本大震災の為発表が延期されていた春の叙勲が6月15日(水)に危険業務従事者叙勲が発表され、兵庫支部会員である川西市、山田渡四郎氏(38中国・元大阪府警部)が瑞宝単光章を受章されたことが判った。同期の藤澤一範氏によると「在学中は硬式野球部に所属し、卒業後は大阪府警に勤務し、地道な粘り強い活動が評価され受章されたものと思う。2年毎に開催の同期会で一度会ったが、退職後は「デジタルライフを楽しむ会」に入り写真撮影とルービック・キューブ作りの趣味で楽しんでいると。今年9月母校キャンパス訪問の同期会で再会予定。」とのこと。近い内に兵庫支部活動に参加されることを期待したい。

**第2回和歌山支部総会開催予定
9月4日(日)ホテルグランヴィア和歌山**

昨年8月1日関西支部から独立して48番目の支部として、和歌山支部設立総会が開催されたが、第2回支部総会を下記の通り開催されると案内がありましたのでお知らせします。参加希望者は下記申込先に連絡の上、御参加下さい。

記

第2回和歌山支部総会

開催日時：9月4日(日)11:30~14:30
開催場所：ホテルグランヴィア和歌山6F

Tel.073-425-3333(代)

JR和歌山駅前

会費：6,000円

申込先：有松敏幸(36米英)和歌山支部長

Tel.073-445-8034

または

山田絢昭(44商)兵庫支部事務局長

Tel.&Fax:0797-81-0842

Eメール：gokusho27@jttk.zaq.ne.jp



**損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店**

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

雑感

東北地方の被災について

山本信司(37米英)

会員の皆様には残暑お見舞い申し上げます。今年は電力事情もあり殊の外暑い夏となりそうです。

この度の東北地方の被災を思う時一義的には天災ですが素人目にも人災の面も多々あるように思います。危険物を取り扱う際、絶対安全などあり得ず大自然を相手に、ましてや人間は時として間違いを犯すことがあることを思えば、しかも世代を超えて影響の出る恐れのある核燃料事業においては、二重三重のバックアップ体制は必然である。

文明の発達と生活の向上享受に対する人間の欲望には際限はなく、それが故に更なる文明の進化がもたらされる事は否めませんが、物質文明の進歩と精神性の陶冶、安定つまり人間の尊厳を遵守しながら、心とのバランスを保たなければいつかは破綻するのではなからうか。機械文明の発達には経済的コスト抜きには考えられず、コストを優先すれば組織であれ、商品であれ瑕疵が出る恐れがあることを忘れてはならないでしょう。

日本の一流企業である東京電力の原発事故やJR西日本の宝塚線の脱線事故は異論はあろうが、私は同じような因果関係にあるとみている。しかし、私は東電やJRのみを責めているのではない。近年の日本人の精神構造に問題の根源があるのではないかと思う。

安さや利便性に重心を置き、物事の本質が二の次にされていないだろうか。現代文明を日一杯享受しながら一旦問題が発生すると政府や当事者を糾弾するばかりでは、急場凌ぎだけに終わり、将来の展望を見据えた根本的な解決策に至らず、過去と同じ失敗の繰り返しとなろう。人為万能と思うのは人間の驕りであり、非科学的かもしれないが、神仏や超自然に対し謙虚の姿勢が必要であろう。今回の事故はよい機会であり、国民全体が現代の生活の在りようを見直すべきではないかと思う。

古来日本人は自然との共生を旨としてきており自然と上手に折り合いをつけ、華美を嫌い礼節を尊び抑制のある社会生活を送る態様が主流であった。全てを過去に回帰する必要はないが、物事の本質から見て行き過ぎた物質文明を今一度見直してもよいのではないだろうか。会員諸兄のお考えは如何であろうか。

投稿大歓迎
皆様のご投稿を待っています
旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎
掲載料：1/10頁、1回500円
お申し込みは6回分3,000円で御願います

兵庫支部月例会「三金会」7月例会

7月15日(金)午後6時からJR元町駅南の「三金会」定例会場の「本館牡丹園」に於いて開催された。出席者は、大村実良(33商)山本信司(37米英)平岡正昭(37商)二宮慶治郎(38米英)名越英昭(37米英)計5名。



(左手前から時計回りに、二宮、名越、大村、平岡、山本) 支部総会終了直後であり、3連休前日の為か出席者は少な目だったが、支部総会の反省や大学校歌のことが話題となる。

どっちがほんと？

大学校歌の楽譜が変わった!!

今年7月に配布された「北友会会報」Vol.104号の表紙裏に新しく追加されたひびきのキャンパスの歌詞と共に楽譜が印刷されていた。また配布されたCDの「あ～きたがたの…」の部分の音程が従来と違うのでは、という指摘もあり同窓会本部に問い合わせた。



(上が表紙裏に印刷されたもの、下は北九大50年史平成10年や同窓会会員名簿、平成12年に収録分)

本部からの連絡によると、大学HPに掲載の楽譜が北友会会報に印刷されたとのこと。URLは<http://www.kitakyu-u.ac.jp/outline/files/2011-0602-1653.pdf>

今回録音して作成したCDも、その前のCDもそのまま、作成当初から若干違っていました。楽譜を吹奏楽団やコーラスフォーユーなどに確認したところ、今回の楽譜が正となった次第。大学側も作成時の作曲者はすでに逝去されており確認は取れないが、現状、歌われている方に合わせたとのこと。

皆さんの記憶にインプットされている音はどちらの方ですか、上の方？下の方？

**「三金会」「囲碁の会」会場ご案内
本館牡丹園**

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時～

会費：3,500円(男性)

2,000円(女性)

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時～

参加費：無料、ドリンク/500円



第119回歩こう会7月例会

六甲山 油コブシ(625.5m)登山

「油コブシ」なんてちょっと変わった名前なので特別なわれがあるのかと、種々調べたが判らず消化不良のまま、油コブシ登山記に取り掛かる。

7月第2日曜の10日、阪急六甲駅東出口山側に集合し、駅舎に隣接の阪急オアシスで弁当と飲物を調達して出発したのは10時過ぎだった。

参加者は藤田顧問、二宮会長、安徳支部長と名越、ゲスト参加の岡本氏の5名である。

まずは六甲ケーブル下駅目指して緩やかな坂道を、梅雨明けの強い陽射しを浴びながら、神戸大のキャンパス



(阪急六甲駅前を出発)

を右手に見ながら北上する。藤田顧問が30分毎位で水分補給すべきとのことで小休止していると目の前に



(大土神社の鳥居)

立派な鳥居が見える。大土神社である。18世紀後半には、菜種を絞り灯油を生産する為この辺りに25基の水車があり、水車新田村と呼ばれ、その守護神として創建されたそうだ。そこから5分ばかりで六甲ケーブル下駅に到着した。駅舎はハ

カー等で一杯である。六甲山上駅まで高低差493.3m約1.7kmを約10分で結ぶ。山上駅駅舎は、平成19年近代化産業遺産にされており開業当時(1932)の姿を残しているとのこと。



(六甲ケーブル下駅の横を歩く)

この駅の右横の道を進み、九十九折りの坂道を上り、老人ホームが立ち並ぶ中を通り抜けると、突き当りに油コブシ登山人口の道標がある。そこを左折し山道に入ると、途端に56段の階段が待ち受けていた。



(油コブシ登山口)

階段を上り左折し暑い陽射しを遮る木漏れ日の緩やかな坂道を進む。とは言えもう汗びっしょりになり少々遅れ気味に最後尾になりながら、それでも展望が開け大阪湾が見えると写真撮影もし、さらに遅れる事になる。道筋には道標が所要所にあり、それを確かめながら登って行く。

階段を上り左折し暑い陽射しを遮る木漏れ日の緩やかな坂道を進む。とは言えもう汗びっしょりになり少々遅れ気味に最後尾になりながら、それでも展望



(大阪湾を一望)

途中険しい上り坂もあり、大きな石がゴロゴロした歩きにくい道もあり(写真右)、やがて目の前が開けてちょっとした広場にでた。この辺りで昼食かと思いきや、先行組はもっと奥の方へ進んで行っており、もうひと踏ん張りだ。



5分も歩かない内に格好の休憩所があり、先着組は昼食を始めていた。油コブシ頂上まで0.3kの地点である。汗をたっぷり掻いたのでビールが旨い！

体重も大分減っているに違いない。何組かのハイカー達も下山してきたりし、ここで昼食をとっていた。

昼食後頂上を目指して



（他のハイカーも一緒に昼食）
出発。5分も経たない内に到着した。頂上を示す三角点の柱石と大きな石があるだけで、廻りは樹木で遮られ展望は得られない。



(他のハイカーも一緒に昼食)

ここで本日の参加者5名の記念写真を撮影。(写真左)

三角点は三等三角点と表示されている。(写真下)

因みに三角点は三角測量の基準となるものであることはご存知だろうが、その等級は一等から四等までであり、一等は45km間隔に設置され全国に972ヶ所、二等は8.0km間隔で5,056ヶ所、三等は4.0km間隔で32,699ヶ所、四等は2.0km間隔で64,557ヶ所あるとの事。柱石の破壊などは2年以下の懲役又は百万円以下。わが同窓生にはそんな不埒な奴はいないとは思



が念の為。頂上から少し進むと分岐点にやってきた。直進すれば六甲ケーブル山上駅である。

我々は右折して寒天山道経路で渦森台方面へと下山して行く。

かなり勾配のある下り坂を用心しながら下りて行く。やがて

「順路」と表示された道標があり、六甲山系グリーンベルト整備事業と表示されていた。順路に従って暫く下りて行く



(整備事業地域を下って行く)

と表示されていた。順路に従って暫く下りて行くと整備事業の説明板があった。国土交通省六甲砂防事務所により、かつての檜の植林地を伐採して、落葉広葉樹の植栽を行って土砂災害に強く、生き物豊かな落葉広葉樹林の形成を目指す事業とのこと。「渦っ子の森」や「シニア自然大学」などの標識が見え、完成すれば絶好の散策地域となるであろう。渦森台団地から長い下り坂を下り、途中深田池畔で休憩しシャツを着替えて、阪神御影駅を目指す。団地から1時間有余のウォーキングで御影駅近くの王将にゴールビールと餃子で疲れを癒す。



(渦森台目指し下山開始)

た。順路に従って暫く下りて行くと整備事業の説明板があった。国土交通省六甲砂防事務所により、かつての檜の植林地を伐採して、落葉広葉樹の植栽を行って土砂災害に強く、生き物豊かな落葉広葉樹林の形成を目指す事業とのこと。「渦っ子の森」や「シニア自然大学」などの標識が見え、完成すれば絶好の散策地域となるであろう。渦森台団地から長い下り坂を下り、途中深田池畔で休憩しシャツを着替えて、阪神御影駅を目指す。団地から1時間有余のウォーキングで御影駅近くの王将にゴールビールと餃子で疲れを癒す。



(御影タワーが近づいた)

「歩こう会」8月例会 書写山円教寺を訪ねる

8月14日(日)午前10時JR姫路駅北側に集合

弁当、飲物、敷物、タオル、着替えシャツ等々持参
連絡先：二宮慶治郎 Tel.&Fax 078-851-1875